

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年5月21日(日) 午前10時～11時30分
開催会場	下恵土公民館
出席議員	澤野伸・板津博之・川上文浩・天羽良明・亀谷光・大平伸二・川合敏己 高木将延・伊藤健二・伊藤壽
班長	伊藤 壽
報告書作成者	伊藤 壽
参加者数	13人
実施内容	3グループに分かれ、議会のトビラにより議員から説明の後、意見交換 1グループにつき議員2名、参加者4～5名 意見交換の課題：公民館のコミュニティセンター化について
質疑および 意見等	<p>【公民館のコミュニティセンター化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館は地域・人・絆づくりの場でもあった。コミュニティセンター化することはよい事だが、貸館事業として行えば、これまでの社会教育、生涯学習の継続性が無くなる可能性があるため注意が必要。例えば悪徳業者による物品販売、宗教活動、政治など金と組織を持っている人が使用独占する可能性も出てくる。 ・センターで差配を行う職員は重要である。特に指定管理の場合は事業計画をしっかりと精査していく必要がある。公の施設として、施設利用の基準となるルールをしっかりと決めておくことが肝要である。 ・学校開放などの様に、地域の利用の優先順位をどうつけるか、明確な基準が必要では？ ・また、現在 新公民館長を人選する時期であるが、立場、仕事内容などを考えるとどうしたらいいか、今までどおりの決め方で人選してよいか ・民間が受けてやるか？ ・今まで地域の方が支えて公民館が運営されて来た、新しいセンター長が、地域自治会と協力して順応していけばコミュニティセンターの運営も上手くいくのではないか。 ・公民館法を外し多目的利用になると市民の利用料金が値上げになるのでは ・コミュニティー化で様々な事業者や違法販売業者の利用が出てくるのではないか、しっかりした管理体制が必要では。 ・現在の公民館は災害時の避難場所になっていますが、今後、指定管理になった場合避難所として使えるのか？ <p>など</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今渡北小、蘇南中は、児童生徒数が多い。兼山小は、児童数が少ない。見直しが必要ではないか。 ・スポーツの推進について、市は、歩こう可児302運動やK体操を高年齢者向きにやっているが、長い目でみると子ども達がスポーツに触れ合う機会が少なくなっており、例でスポーツ少年団人口が約900名まで減少している。各競技種目も複数の小学校で取組まなければチームができないほどである。底辺拡大が必要ではないか。底辺拡大をどうするか、そのための市としての姿勢を示して欲しい。 ・今は「いじめ」で自殺に追い込まれることもある。少々のことにへこたれない逞しく、困難にも気概をもって立ち向かっていける子どもに育てる

	<p>環境が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域は、子ども達と多くの地域活動に係わる中で、わがまちに愛着を持ってもらえるよう、よい経験を積ませて心豊かに、逞しく育ててもらえるように関わっていく事が大切ではないか。 ・ 可児市の小中学校は、思い切って週 6 日制にしてみてもどうか。土曜日が登校日になれば平日にも余裕ができて、先生が生徒たちと向き合う時間に余裕ができるはず。 ・ 民生費が増加しているなかで特に可児の特定検診率が低い検診率を高めることで早期治療になり医療費の削減になる、もっと行政も努力して受診率をあげるべき。 ・ 西可児地区の再開発に岐阜医療大学と連携して西可児開発を進めて欲しい。 ・ 名鉄御嵩線はいつまで補助をしていくのか？また今後のどの様にしていくのか計画はあるか。 ・ 地域の安心、安全作りで防災、減災は進んでいるが交通安全の取り組みが弱いのではないか、可児市道の歩道整備や除草及び動物の死骸除去をしてほしい。 ・ コンパクトシティを進めて欲しい。 ・ 運転免許証の自主返納者への足の確保や推進施策がもっと必用ではないか。 <p>など</p>
<p>上記の内 委員会等 で検討す べきもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達が地域との関わりの中で育つ環境づくり。 ・ スポーツの年少人口の拡大 ・ 学校区における児童生徒数の増減への対応について

平成 29 年 5 月 25 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 下恵土会場 班長 伊藤 壽